

政策評価調書（個別票①-1）

【政策ごとの予算額等】

政策名	社会資本整備・管理等を効果的に推進する		評価方式	総合(実績)事業	番号	9-33
歳出予算額（千円）	20年度	21年度	22年度	23年度要求額		
（ 当 初 ）	896,335	851,914	757,868	1,282,239		
（ 補 正 後 ）	880,256	851,752				
前年度繰越額（千円）	0	0				
予備費使用額（千円）	0	0				
流用等増△減額（千円）	0	0				
歳出予算現額（千円）	880,256	851,752				
	<0>	<0>				
支出済歳出額（千円）	830,992	768,950				
翌年度繰越額（千円）	0	0				
不用額（千円）	49,264	82,802				
	<0>	<0>				
達成すべき目標及び 目標の達成度合いの 測定方法	個票②に記載					
政策評価結果を受けて 改善すべき点	引き続きVFM最大化へ向けた取組みを推進する必要がある。					
評価結果の予算要求等 への反映状況	引き続きVFM最大化へ向けた取組みを推進するにあたり必要な費用について要求をしている。					

政策評価調書（個別票①-2）

【政策に含まれる事項の整理】

政策名	社会資本整備・管理等を効果的に推進する					番号	9-33		(千円)
	予 算 科 目							政策評価結果等 による見直し額	
	整理番号	会計	組織/勘定	項	事項	22年度 当初予算額	23年度 要求額		
対応表において● となっているもの	A	1	一般会計	国土交通本省	社会資本整備・管理効率化推進費	社会資本整備・管理等の効率的な推進に必要な経費	757,868	1,282,239	19,593
	A	2							
	A	3							
	A	4							
	小計						757,868	1,282,239	19,593
対応表において◆ となっているもの	B	1							
	B	2							
	B	3							
	B	4							
	小計						の内数	の内数	
対応表において○ となっているもの	C	1					<	>	
	C	2					<	>	
	C	3					<	>	
	C	4					<	>	
	小計						の内数	の内数	
対応表において◇ となっているもの	D	1					<	>	
	D	2					<	>	
	D	3					<	>	
	D	4					<	>	
	小計						の内数	の内数	
合計						757,868 の内数	1,282,239 の内数	19,593	

政策評価調査（個別票②） （政策評価書要旨）

担当部局名:大臣官房技術調査課
担当者(連絡先):大谷江二

評価実施時期:平成22年 8月

政策名	社会資本整備・管理等を効果的に推進する	番号	9-33
-----	---------------------	----	------

政策の概要
社会資本整備・管理等を効果的に推進し、社会資本整備・管理等に係る各種施策の実施状況を毎年度適切にフォローアップする。

【評価結果の概要】

(総合的評価)
業績指標の実績値は、施策目標の達成に向けて着実な成果を示している。今後とも、社会資本整備・管理等の効果的な推進を着実に進めるため、VFM最大化を重視した国土交通省公共事業コスト構造改善プログラム等に基づく各種施策や、事業認定処分の適正な実施、企画立案等の質の向上等を図る施策の一層の推進を図ることが重要である。

(必要性)
社会資本整備・管理等を効果的に推進するためには、厳しい財政事情が続くなかで、引き続きコスト縮減の取り組みを継続する必要があるとともに、行き過ぎたコスト縮減は品質の低下を招く恐れもあることから、コストと品質の両面を重視するVFM最大化を図る施策を実施する必要がある。また、事業認定処分の適正な実施、企画立案等の質の向上等を図る施策を実施する必要がある。

(効率性)
平成20年度の取り組みの結果、総合コスト改善率は3.7%となっており、VFM最大化を重視したコスト構造改善プログラム等による取り組みが順調に進んでいることを示していること、また、取り組みに要した費用は総合コスト改善額と比較して小さいことから、社会資本整備・管理等の効率化が図られていると評価できる。

(有効性)
平成20年度の取り組みの結果、多くの業績指標がAと評価できること、また、総合コスト改善率は3.7%となっており、VFM最大化を重視したコスト構造改善プログラム等による取り組みが順調に進んでいることを示していることから、コスト縮減のみではなく、コストと品質の両面における有効性を評価できる。

政策に関する評価結果の概要と達成すべき目標等

(反映の方向性)
国土交通省公共事業コスト構造改善プログラム（平成20年3月策定）等に基づく取り組みのより一層の推進等

【達成すべき目標、測定指標、目標期間、測定結果 等】

達成目標	指標名	単位	基準値 (年度)	実績値			目標値 (年度)	達成目標・指標の設定根拠・考え方
				19年度	20年度	21年度		
社会資本整備・管理等を効果的に推進する	公共事業の総合コスト改善	%	-	-	3.7	集計中	15	◎公共事業の総合コスト改善率 平成20年3月に策定
	事業認定処分の適正な実施	件	0	0	0	0	0	土地収用法の事業認定については、それが公共の利益と私有財産の
	国土交通政策の企画立案等に必要の調査検討の報告数及び研修等の満足度(①課題)	件	13	12	13	12	14	実際にを行った①調査検討の件数及び②研修等の満足度について目標値と比較し、検討する。
		%	90.9	93.2	99.3	91.8	95	(なお、①調査検討の報告は、社会経済環境において生起する諸課題等を踏まえて作成するものであり、件数について減少することもある
		%	88.8	88.8	92.6	96.9	90	
	建設施工企画に関する指標(①ICT建設機械等(土工(盛土)の敷均し、締固め)	件	-	122	122	219	100	①土工(盛土)における、敷均し・締固め施工において、一般機械を使用した従来施工と3次元機械制御対応の建設機械を使用した情報化施工による施工効率から施工日数を試算。
		件	-	-	-	-	50	また、完成形状の監督・検査においても従来の
		%	3.5	3.33	2.76	集計中	3.15	用地取得の円滑化・迅速化による効率的な事業の実施のため、あい
		%	-	-	-	-	-	
		%	-	-	-	-	-	

関係する施政方針演説等内閣の重要政策(主なもの)	施政方針演説等	年月日	記載事項(抜粋)